

RF回路の計測評価技術を学ぶ (2015年度)

学んで時に之を習う、また説ばしからずや。

2014年に引き続き 2015年夏にも 電子計測技術の専門家である神奈川工科大学 小室貴紀先生（群馬大学社会人博士課程修了、元群馬大学客員教授）、関係の皆様のご尽力により、大学院生向けの「RF回路の計測・評価技術」の講座が高度ポリテクセンターにて開催された。お声をかけていただき、神奈川工科大学の大学院学生とともに群馬大学大学院学生も受講させていただいた。精力的な活動をされている小室先生、萩野先生、また高度ポリテクセンターの関係の皆様に感謝いたします。



<http://livedoor.blogimg.jp/gahaku15/imgs/8/b/8bcb1f1a.jpg> より



***** 開催内容（小室先生より） *****

2015 年度 大学院生向け特別講義

「RF 回路の計測・評価技術」

開催日時： 2015 年 8 月 18 日～19 日 両日とも 10:00～16:45

開催場所： 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

高度職業能力開発促進センター（愛称：高度ポリテクセンター）

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

講師： 神奈川工科大学 電気電子情報工学科 教授 小室貴紀 先生

神奈川工科大学 電気電子情報工学科 非常勤講師 萩野達雄 先生

協力： 高度ポリテクセンター

講座の概要：

【第 1 日】システムの理解とアナログ要素の評価方法

1) デジタル変調による無線通信システムの概要（講義）

2) 通信システムの構成要素（講義）

3) 各要素の特性測定と使用する測定機について（実習・講義）

システムの構成要素：送信機：（変調器）、ミキサ、発振器、BPF、PA

受信機：LNA、BPF、ミキサ、発振器、（復調器）

その他：アンテナ、伝送路、コネクタ

使用する測定器： 信号発生器（＝発振器）、ベクトル・ネットワーク・アナライザ

校正キット、スペクトラム・アナライザ、

【第 2 日】システム全体の評価について

4) 送信機の特性（講義・実習）

5) 受信機の特性（講義・実習）

6) 送受信システムの評価（実習）

7) まとめ

使用する測定器： デジタル変調信号発生器（＝理想変調器）

シグナル・アナライザ（＝理想復調器）

◎プロでもめったに使えない高度な測定器を、自由に使用して実習できる

貴重な機会です。

◎基本から丁寧に指導します。

.....







群馬大学側の参加者：

李 从兵（博士後期課程 3 年）

築地 伸和（博士後期課程 2 年）

戸塚 拓也（博士前期課程 2 年）

王 俊善（博士前期課程 2 年）

（講義・実習の写真 小室貴紀先生、文責 小林春夫）